

第47回 市政e-モニターアンケート 「日本遺産について」

【テーマ】日本遺産について

【目的】

鎌倉市は、歴史的遺産と共生するまちづくりをめざし、それを具現化するためのひとつの施策として日本遺産事業を推進しています。そこで、今回のアンケートでは日本遺産に関する認知度をお伺いするとともに、認知度を上げながら、より効果的な事業を推進するための参考にしたいと思います。

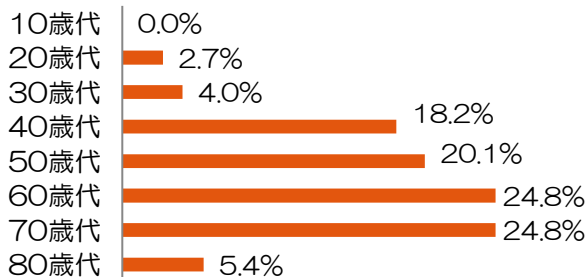
【「日本遺産」解説】

日本遺産とは、文化財や伝統文化を通じて地域の活性化を図るために、地域の歴史的魅力を発信する明確なテーマを設定して構成したストーリーを、文化庁が「日本遺産(Japan Heritage)」として認定するものです。平成27年度から年1回公募があり、令和元年度までに83団体が認定されました。

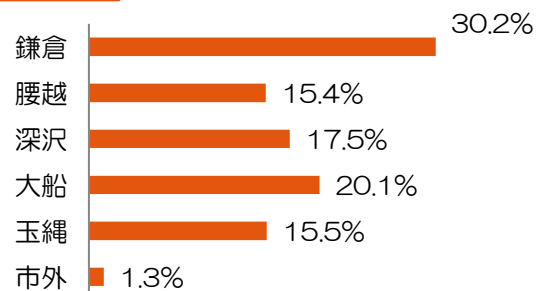
- ◆ アンケート送信日 : 令和元年(2019年)8月30日(金曜日)
- ◆ 実施期間 : 令和元年(2019年)8月30日(金曜日)～9月13日(金曜日)
- ◆ 送信者数 : 502名(着信者数 461名)
- ◆ 回答者数 : 149名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 32.3%(前回より -2.1ポイント)

【今回の回答者の基本属性】

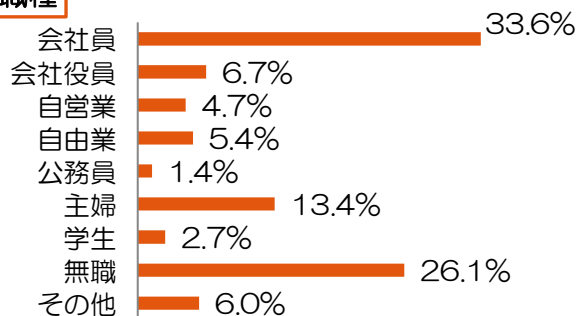
年齢



居住地

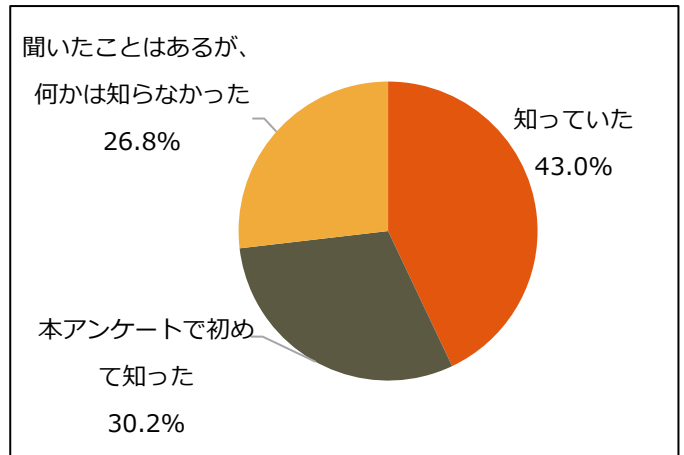


職種



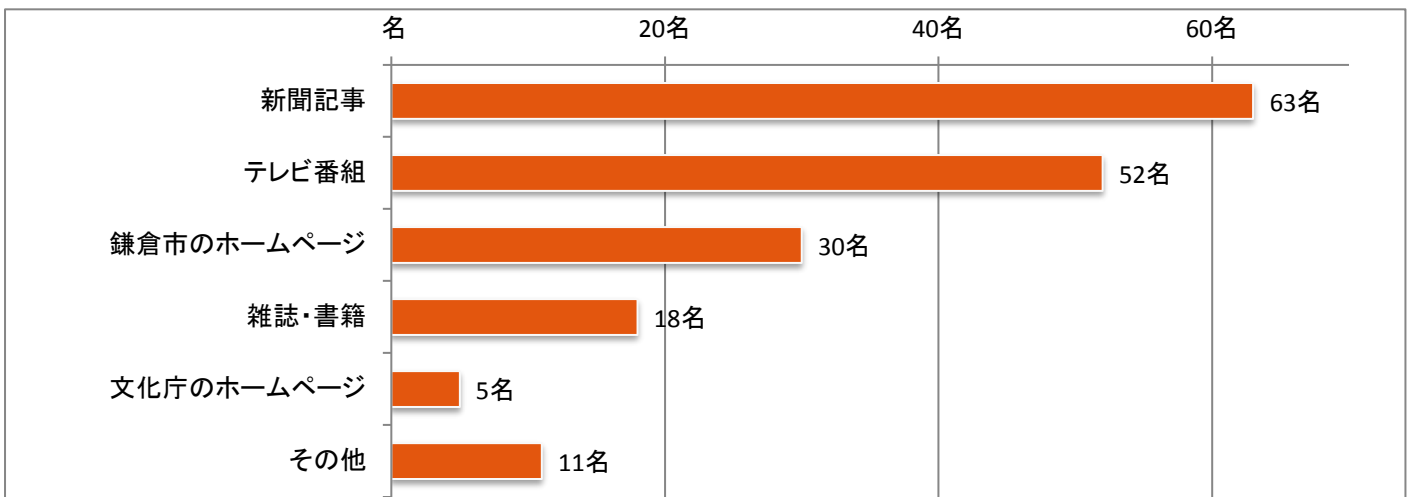
【質問1】（必須）「日本遺産」について知っていましたか。（1つ選択）

1. 知っていた	64 名
2. 聞いたことはあるが、何かは知らなかった	40 名
3. 本アンケートで初めて知った	45 名
合計	149 名



【質問2】（質問1で1または2と答えた人）「日本遺産」を知ったり、聞いたりしたのは何からですか。（複数回答可）

1. テレビ番組	52 名
2. 新聞記事	63 名
3. 雑誌・書籍	18 名
4. 鎌倉市のホームページ	30 名
5. 文化庁のホームページ	5 名
6. その他	11 名



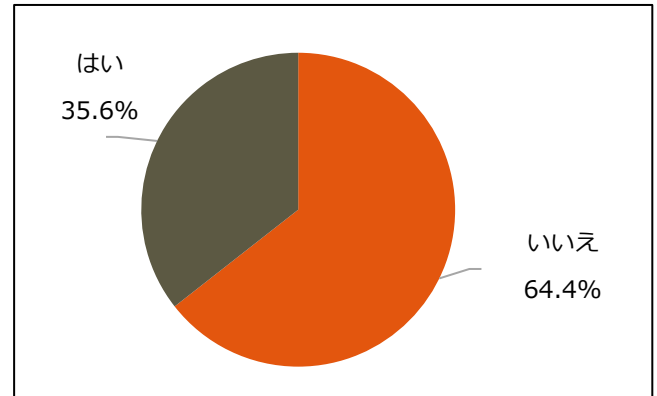
【その他の回答】

- ニュースサイトの記事。
- なにかのwebnews。
- SNS。
- 鎌倉市の広報？で。
- 広報かまくらかもしれない。新聞の可能性もある。ふるいことで忘れた。
- 広報かまくら。
- 日本遺産に登録された市なり町の広報等から。
- 大分県日田市の咸宜園に行った時、メインの建物に日本遺産のプレートがあり、説明書みて知りました。
- 地域での活動を通じて。
- 文化財発掘のアルバイトをやっていてその関係で情報入手した。
- 覚えていない。

鎌倉市は、自然と一体となった中世以来の社寺が醸し出す雰囲気の中に、近世の信仰と遊山、近代の別荘建築、鎌倉文士らが残した芸術文化など、さまざまな要素が、まるでモザイク画のように組み合わせられた特別なまちであるとしたストーリーが、平成28年4月に日本遺産に認定されました。

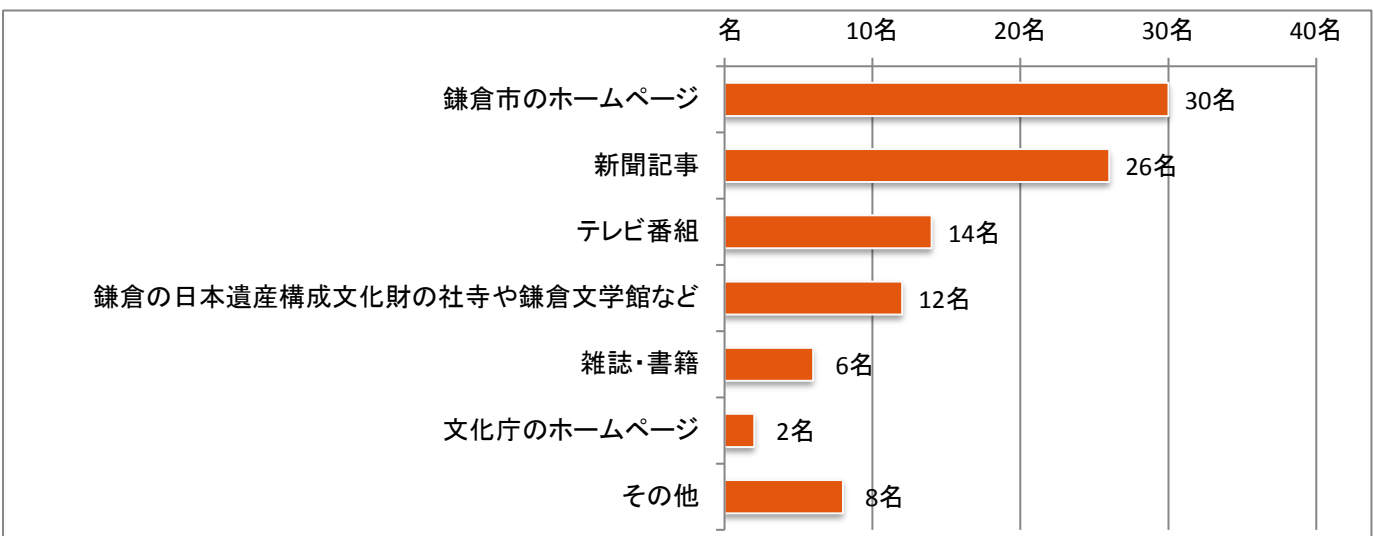
【質問3】 鎌倉市が日本遺産認定団体であることを、本アンケートの前から知っていましたか。(1つ選択)

1. はい	53 名
2. いいえ	96 名
合計	149 名



【質問4】 (質問3で1と答えた人) 鎌倉市が日本遺産認定団体であることをどこで知りましたか。(複数回答可)

1. テレビ番組	14 名
2. 新聞記事	26 名
3. 雑誌・書籍	6 名
4. 鎌倉市のホームページ	30 名
5. 文化庁のホームページ	2 名
6. 鎌倉の日本遺産構成文化財の社寺や鎌倉文学館など	12 名
7. その他	8 名

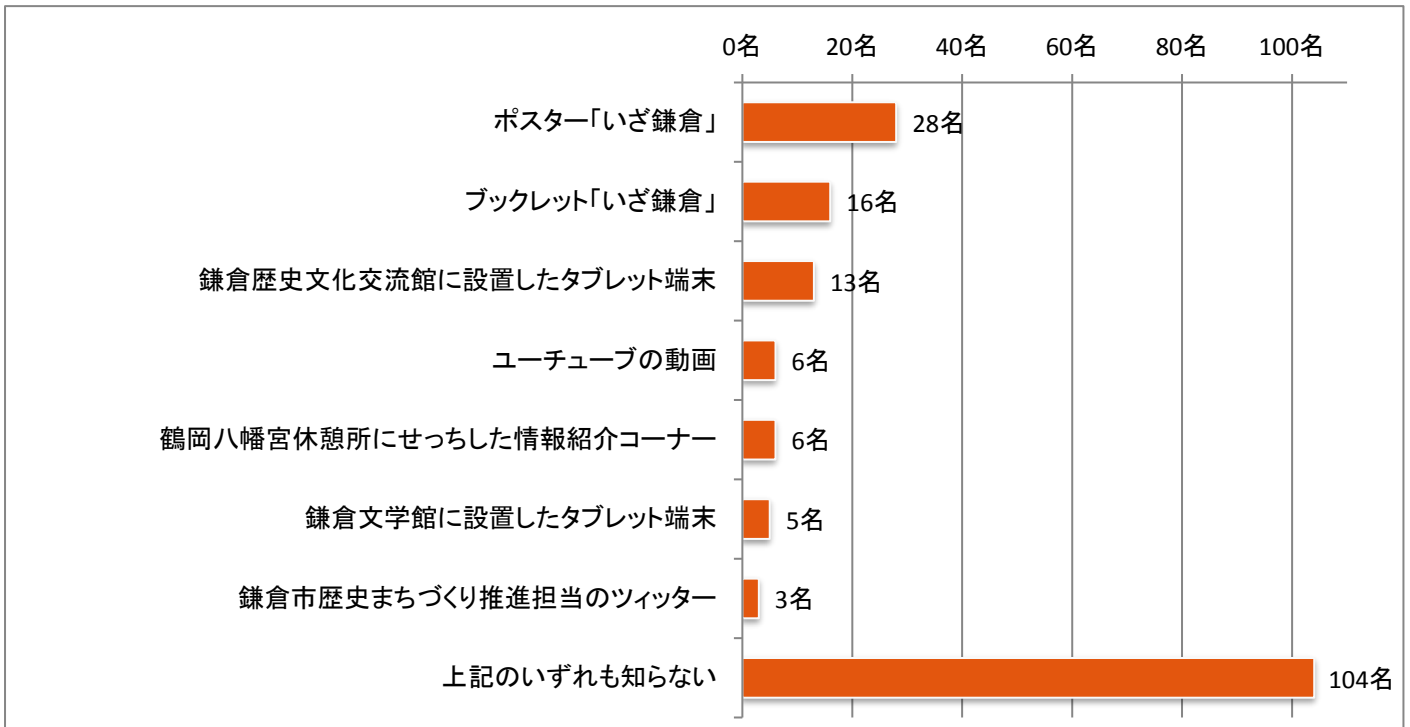


【その他の回答】

- ニュースサイトの記事。
- 鎌倉歴史文化交流館。
- 広報「かまくら」 2件。
- 広報かまくらだったかと思います。
- 世界遺産登録に関係していたのでその後の状況に関心があった。「認定団体」の意味はわからない。ある観光スポットが日本遺産かどうかは承知している。
- SNS。
- 地域での活動を通じて。

【質問5】 以下は、鎌倉市が日本遺産を紹介するために作ったコンテンツです。見たことがあるものを選んでください。
(複数回答可)

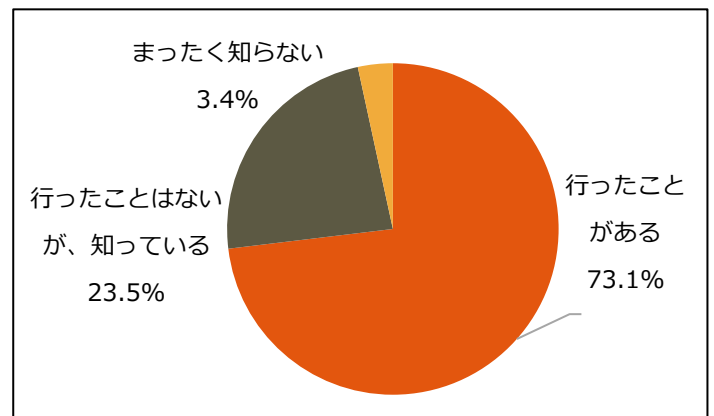
1. ユーチューブの動画	6名
2. ブックレット「いざ鎌倉」	16名
3. ポスター「いざ鎌倉」	28名
4. 鎌倉歴史文化交流館に設置したタブレット端末	13名
5. 鎌倉文学館に設置したタブレット端末	5名
6. 鶴岡八幡宮休憩所に設置した情報紹介コーナー	6名
7. 鎌倉市歴史まちづくり推進担当のツイッター	3名
8. 上記のいずれも知らない	104名



【質問6】 以下は、日本遺産構成文化財です。各設問にお答えください。

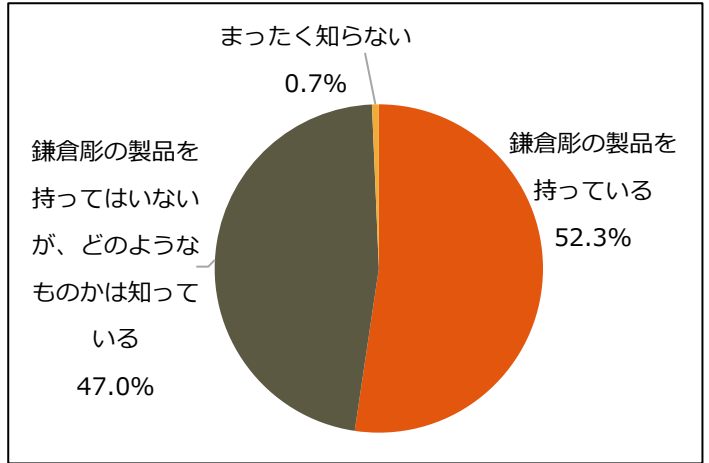
【質問6-1】 (必須) 鎌倉文学館 (1つ選択)

1. 行ったことがある	109名
2. 行ったことはないが、知っている	35名
3. まったく知らない	5名
合計	149名



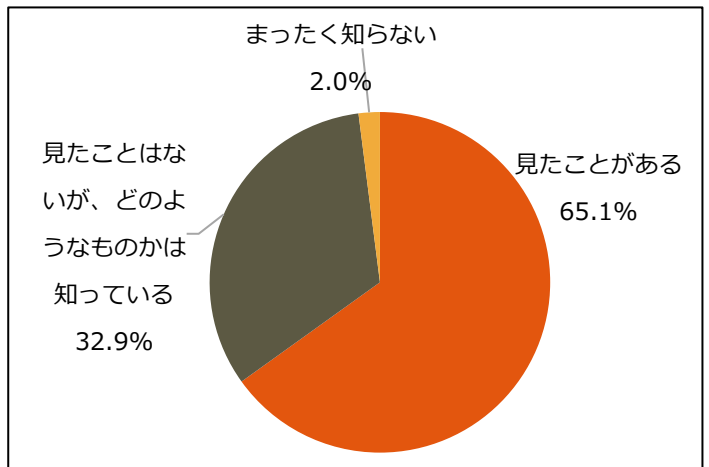
【質問6-2】(必須) 鎌倉彫 (1つ選択)

1. 鎌倉彫の製品を持っている	78 名
2. 鎌倉彫の製品を持ってはいないが、 どのようなものかは知っている	70 名
3. まったく知らない	1 名
合計	149 名



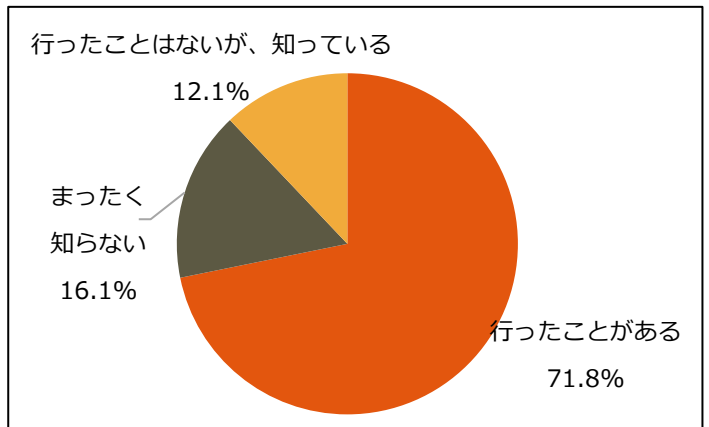
【質問6-3】(必須) 流鏝馬 (1つ選択)

1. 見たことがある	97 名
2. 見たことはないが、どのようなものかは知っている	49 名
3. まったく知らない	3 名
合計	149 名



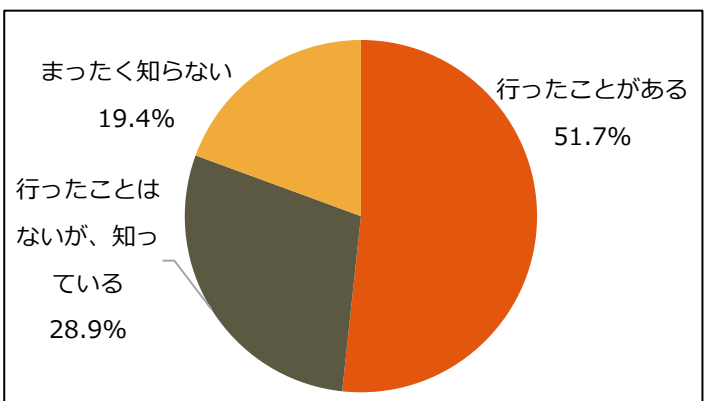
【質問6-4】(必須) 仮粧坂 (1つ選択)

1. 行ったことがある	107 名
2. 行ったことはないが、知っている	18 名
3. まったく知らない	24 名
合計	149 名



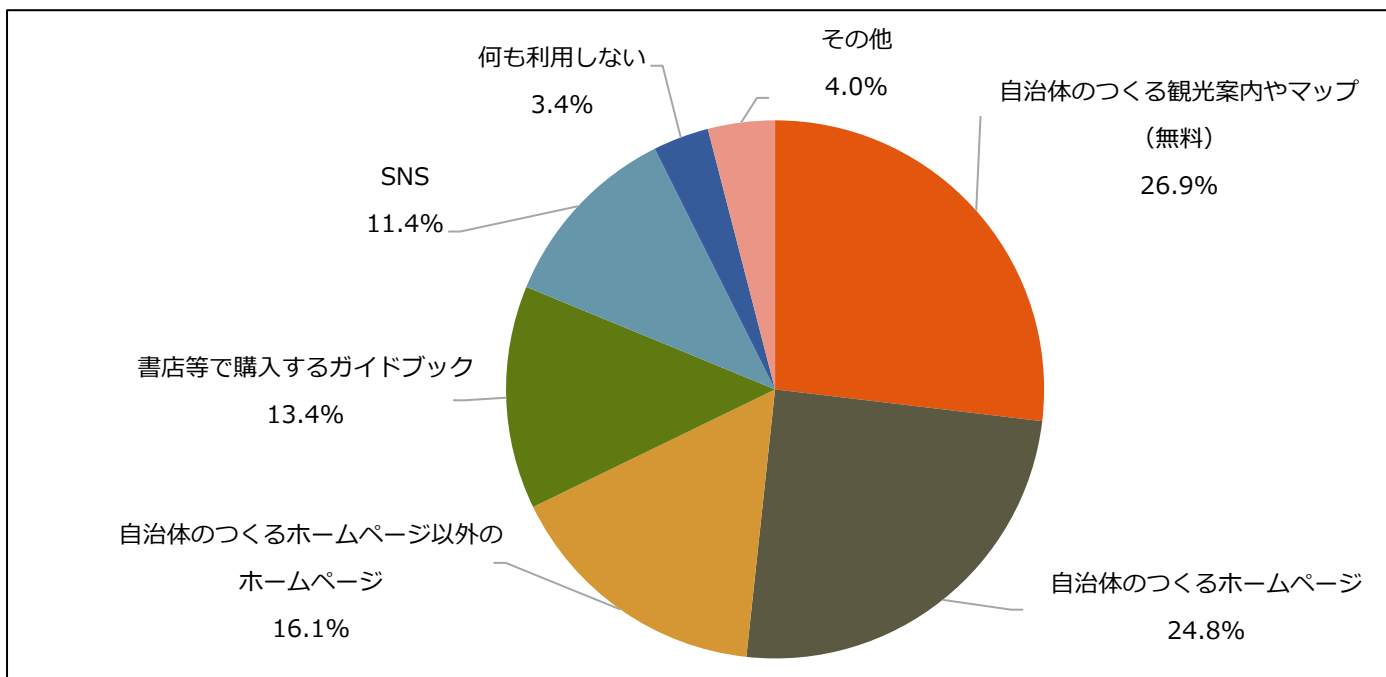
【質問6-5】(必須) 永福寺跡 (1つ選択)

1. 行ったことがある	77 名
2. 行ったことはないが、知っている	43 名
3. まったく知らない	29 名
合計	149 名



【質問7】（必須）日本遺産認定地に旅行に行くとしたら、最も活用する情報源はどれですか。（1つ選択）

1. 自治体のつくるホームページ	37 名
2. 1.以外のホームページ	24 名
3. 自治体のつくる観光案内やマップ（無料）	40 名
4. 書店等で購入するガイドブック	20 名
5. SNS	17 名
6. 何も利用しない	5 名
7. その他	6 名
合計	149 名



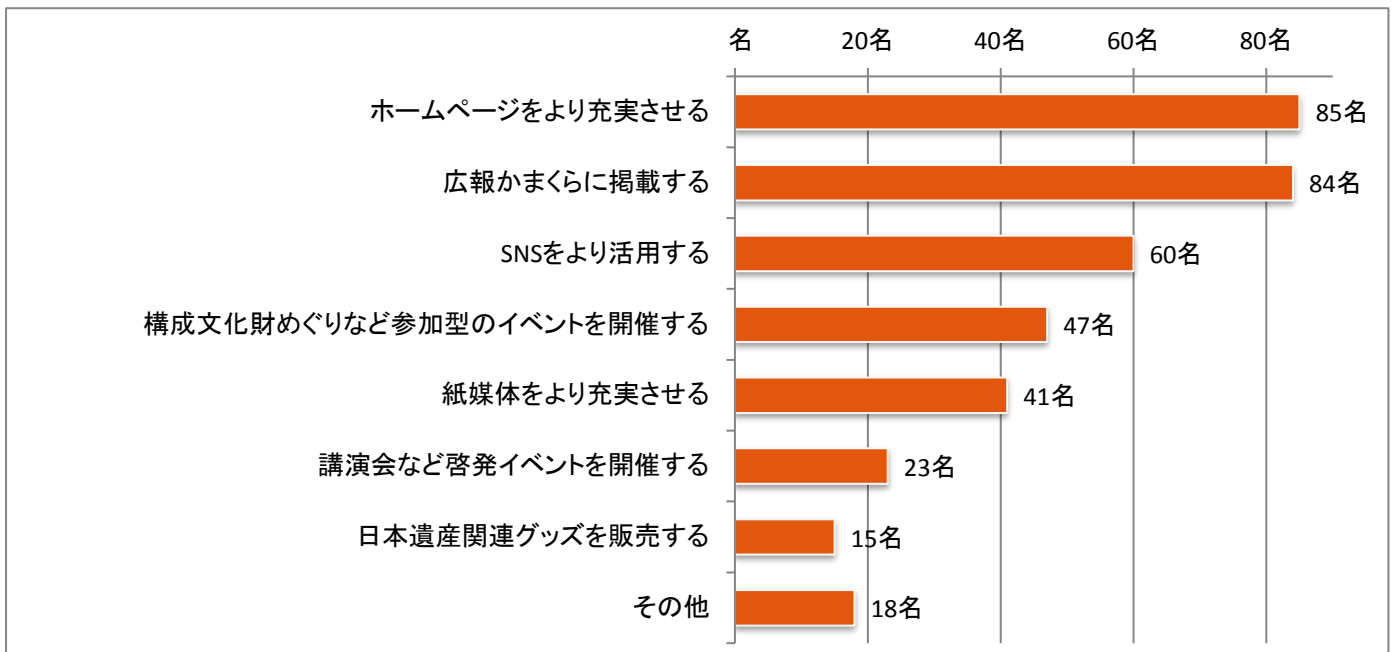
【その他の回答】

- 時と場合による。webで 日本遺産鎌倉 と検索する。
- 検索で最初にヒットした所から見て行くと思います。
- インターネットで検索をします。なので、そこに出てくるホームページであったり、口コミやから情報を得ます。
- 関連の本が紹介されていれば、本も読みます。
- 仮定の質問に答えられない。その場所に日本遺産があるかどうかに関心がない。もしもどうしても調べなければならなければネットで検索するでしょう。
- 日本遺産を知らないので「行くとしたら」といったモチベーションはない。
- 旅行に行くつもりはない。

【質問 8】(必須)日本遺産をより多くの市民の皆様を知っていただくのに、効果的な PR 方法は何かと思いますか。

(複数回答可)

1. ホームページをより充実させる	85 名
2. 紙媒体をより充実させる	41 名
3. 広報かまくらに掲載する	84 名
4. 講演会など啓発イベントを開催する	23 名
5. 構成文化財めぐりなど参加型のイベントを開催する	47 名
6. SNSをより活用する	60 名
7. 日本遺産関連グッズを販売する	15 名
8. その他	18 名



【その他の回答】

- 学校や市内企業などにもアピールしたほうがいいと思います。
- 各地の祭の氏子会・睦会などを引き込む。
- 鎌倉の町内会を利用してチラシ配りや掲示板が良いと思います。私の住む今泉台は年寄りばかりで通販ネット以外は関心無いと思いますし。
- テレビの番組などで取り上げてもらう。
- 新聞テレビなどの一般のメディアへの露出を増やす。(いまだかつて新聞で読んだこともなくテレビで見たこともない)
- どの年齢層をターゲットにするか、で、広報の仕方はかわってくると思います。
- 駅にポスターを掲示する。
- 鎌倉駅のホームなどの看板広告などを利用する。処方箋の薬袋などに印刷、住民票などの封筒に印刷する。
- JR鎌倉駅や江ノ電各駅へのポスター掲示や、自治体の掲示板の活用、飲食店でのパンフレット配布など。SNSの活用は大前提だと考えますが、世代を問わず平等に情報を提供できるのは、意外と街の掲示板ではないかと思います。ただし、聞いたこと・見たことある！止まりになり、深くを伝えることはなかなか難しいかも。
- 今すぐ20年かけて日本遺産にふさわしい街にする計画を始めること。遺産物件と商業物件が、また、自然と人工物が混在し、それこそ歪な歓迎できない「モザイク」になっている状態、もしくははなっていく状況には住民は誇りを持っていない。「混んでるだけだから来ないほうがいいよ」は自嘲的によく聞かれる文言である。上っ面だけ整えても一見の観光客には良いかもしれないがリピーターには繋がらないし、市民は「市民ではなく観光客が重要なのであろう」と思うだけ。(名ばかりの)日本遺産は観光客集客目的であって、住民のため…とは現状では考えられない。(あるべき)日本遺産としたいのならそれに相応しい「まちづくり」を住民とともに勇気をもって断行していただきたい。
- 鎌倉の色を、より際立たせるために、コンビニやチェーン店の色合いを褐色、鎌倉色にする。
- 市としてやれる事をやるべきだと思います。紙で発信できるなら、紙面で何回かに分けて特集したり。ホームページで紹介できるならそこで紹介してみたり。遺産ガイドさんの育成や、遺産ボランティアというの面白いかもしれません。
- 道路を良くする。ハイキングコースとか道が悲惨。

- 税金を投じてまでしてPRすべきとは思わない。本当に価値のあるものなら、何もしなくても伝わって行くはず。市政の中での優先順位をしっかりと認識してもらいたい。そういう優先順位意識の欠如が、民間と「お役所」との決定的な違いだと思う。
- 鎌倉市民にとって日本遺産は無意味なので、周知など不要。その予算をたとえば交通渋滞の解消とか、通学路の安全とかに回すべき。
- 日本遺産を知らせてもあまり意味があるとは思えません。
- 世界遺産ほど知られていないし、その意味するところや価値が共有されていないので、この意義付けの広報活動が必要と思います。
- そもそも市の行う業務は、税金を支払っている市民に益になることを税金を十分検討して、政策に落とし込むことです。上記の内容は全く不要です。「鎌倉の日本遺産をより多くの市民の皆様にご存知いただく」これはどのような意味があるのでしょうか、理解できません。

【歴史まちづくり推進担当より】

日本遺産事業は、鎌倉市が目指す「歴史的遺産と共生するまちづくり」を具体化するための施策のひとつとして推進しています。

「歴史的遺産と共生するまちづくり」とは、所在する多くの歴史的遺産を保全することだけではなく、現在の市民生活が豊かで、住民の方が鎌倉に誇りを感じ、住み続けたいと思うまちづくりです。

アンケートの結果を拝見したところ、回答者の3分の2の方が、鎌倉市が日本遺産認定団体であることをご存じありませんでした。皆様に日本遺産を知っていただくには、ホームページやSNSの活用が有効であるというご回答をいただいておりますので、ホームページ等の充実を図ってまいります。

なお、歴史まちづくり推進担当では、平日はほぼ毎日ツイッターを更新していますが、ご覧いただいている方は3人しかいらっしゃいませんでした。日本遺産構成文化財を中心に、行事、見ごろの花といった観光ガイドに加えて、歴史、昔の風景など、観光客ばかりでなく市民の皆様にも楽しんでいただける内容をツイートしていますので、ぜひご覧になってください。

鎌倉市 共創計画部 広報広聴課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (61) 3867

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp